

森本能舞台六十周年・森本哲郎還暦 ●●●●●

しょう とう
福 岡 松 涛 会

能「半蔀」 番囃子「安宅 勸進帳」

他 舞囃子、素謡、仕舞大会



能 半 蔀

令和7年

9月28日(日) 午前9時始

大濠公園能楽堂

福岡市中央区大濠公園1-5 ☎092-715-2155

◎ 御入場無料・御来場歓迎

※欠番などがございますと、予定時間が少し早まる場合がございます。

お早めにお越しください。

ご挨拶



森本 哲郎

秋晴の候、皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、森本能舞台六十周年・森本哲郎還暦記念として『福岡松濤会』を大濠公園能楽堂にて
催す運びとなりました。

この機に、能「半蔀」を畑中純子さん、番囃子「安宅 勸進帳」を後藤純江さんがそれぞれ勤め
られます。

その他会員一同、記念会に向けて稽古に励んでおります。

皆様お誘い合わせの上、ご来場賜りますようお願い申し上げます。

番組組

素謡

藤

戸

前 漁師の母
後 漁師の霊

加藤 君子

佐々木盛綱 井上 泰介

地謡

多島 法子
菊本 美貴
菊本 澄代
木月 晶子

花

筐

侍女 小林 優紀
照日前 田島 志保美

官人 山口 加代子

地謡

多島 法子
菊本 美貴
菊本 貴子
今村 宮子
木月 晶子

《解説・目安の所要時間》

●ふじと(二十五分)

盛綱は藤戸の先陣の功によつて小島を賜る。そこへ女が現れ、我が子が海中に沈められた恨みを述べる。盛綱は非を詫び、弔いを約束する。やがて殺された漁師の霊が現れ、苦痛を述べるが、弔いの功德で成仏する。

●はながたみ(二五分)

照日前は皇子との思い出の花筐(花かこ)を侍女に持たせ旅に出る。皇子の部下である官人は、狂女となつた照日前を見苦しいと花筐を打ち落とすが、やがて皇子が気付き、照日前を伴つて皇居へと帰る。

仕舞

紅葉狩 女 松本峰和

羽衣 天人 荒川輝代

花月 花月 落合直子

清経^{クセ} 清経の霊 山口加代子

玉之段 海人 岩尾麻美

野守 鬼神 千歳和範

地謡

井内政徳 久保誠一郎 森本哲郎 今村嘉太郎

舞囃子

高砂 住吉明神 越尾真喜子 大鼓 飯富章信 行太鼓 吉田光次

地謡

井内政徳 山口剛一郎 森本哲郎 今村嘉太郎

巻絹 巫女 江本美和 大鼓 飯富章信 行太鼓 相原一彦

地謡

森本哲郎 菊本澄代 今村宮子 多島法子

素謡

隅田川 梅若丸の母 木村節子 船頭 井上泰介

地謡

木月晶子 菊本澄代 今村宮子 菊本美貴

●もみじがり(三分)
美女が紅葉狩の酒宴で美しく舞う。

●はごろも(三分)
天人は羽衣を纏い、春景色を愛でながら舞う。

●かげつ(四分)

花月は幼少期に天狗にさらわれ諸国を巡った思い出を物語る。

●きよつね(七分)

清経の霊が無益な戦いに死を決心し、愛用の笛を吹き、入水した有様を語る。

●たまのだん(五分)

海人の霊が我が子の為に、竜宮に飛び入って宝珠を盗み取った有様を語る。

●のもり(五分)

鬼神が現れ、天上界から地獄までを映し出す鏡を見せ去って行く。

●たかさご(十八分)

住吉明神が現れ、力強く舞い、天下泰平を祝福する。舞神舞(かみまい)というテンポが速く、力強い舞を舞います。

●まきぎぬ(二十分)

音無天神が乗り移った巫女は、神前に祝詞を捧げ、神楽を舞う。そのうちに神がかりした様子で物狂いとなるが、やがて神は離れ、元の女に戻る。

●すみだがわ(三十分)

梅若丸の母は我が子を買いにさらわれて心が乱れ狂女となり、我が子を探し、東国までやってくる。隅田川の対岸に渡る船中で船頭に我が子が亡くなった話を聞く。同情した船頭は母を墓に案内する。人々が一緒に念仏を唱えると、その中に少年の声が聞こえ、塚から姿が現れるが、母が近付こうとすると消えてしまう。夜が明けて見ると、我が子と思っただのは塚の上の草であった。

天

鼓

天鼓

山

田

真裕美

大鼓
小鼓

幸白

坂

正信

行
笛

相

原

一

彦

舞
囃子

●てんこ(二十三分)

天鼓の霊が水上に現れ、生前愛した鼓に再び会えたことを喜び、鼓を鳴らして浮き浮きと舞い遊び、夜明けと共に姿を消す。

楽(がく)という足拍子(手拍子ではなく足で踏む拍子)をたくさん踏む舞を舞います。足拍子は喜びを表現しています。

井

筒

有常の娘

山

田

伸子

大鼓
小鼓

飯白

富坂

章信

行
笛

森

田

光

次

地謡

山口剛一郎
坂口貴信
森本哲郎
久保誠一郎

●いつつ(二十三分)

有常の娘の霊の業平への恋慕の舞。能や舞囃子では、序の舞(じよのまい)という静かな舞を舞います。

砦

素
謡

前
後
芦屋某の北方
夕霧
村門鈴美
森本映子

芦屋某
橋本倫子

地謡

多島法子
菊本澄子
今村宮子
木月晶子

三

輪

三輪明神

高

山

由美

大鼓
小鼓

幸白

坂

正保

行
太鼓

吉

田

光

次

舞
囃子

●みわ(二十三分)

三輪明神が現れ、天の岩戸隠れの時に舞われたという神楽を舞う。

地謡

今村嘉太郎
坂口貴信
森本哲郎
久保誠一郎

唐

船

祖慶官人

山

田

寿美子

大鼓
小鼓

飯白

富坂

章信

行
太鼓

相

原

一

彦

地謡

森本哲郎
多島利之
坂口信男
今村嘉伸

●とうせん(二十分)

官人は帰国を喜び、船に乗り、喜びの舞を舞う。楽(がく)という足拍子をたくさん踏む舞を舞います。足拍子は喜びを表現しています。

(時間は多少前後します。
お早めにお越しください。)

半 部

後 前
里 女
夕 顔
顔 の 霊
畑
中
純
子

僧 御 厨 誠 吾
大 鼓
小 鼓
飯 白 坂 保 行 笛 相 原 一 彦

所の者 野 村 万 禄

後 見

森 多 久 島
本 哲 郎

地 謡

堀 鬼 小 出
田 塚 林 口
絵 由 優 佳
美 紀 紀 子
菊 今 菊 木
本 村 本 月
美 宮 澄 晶
貴 子 代 子

大 原 御 幸

仕 舞

合 浦

鯨 人

森 本 絢 子 (小二)

地 謡

鬼 森 堀 小
塚 本 田 林
由 哲 絵 優
紀 郎 美 紀

養 老

山 神

森 本 英 太 郎 (小三)

地 謡

玉 森 松 鉦
垣 本 山 落
哲 幸 信
瑛 郎 宏 也

番 外 仕 舞

笠 之 段

左 衛 門

森 本 哲 郎

地 謡

今 坂 久 井
村 口 保 内
嘉 貴 誠 政
太 信 一 郎 徳

能

●おはら(二五分)
女院は先帝をはじめ一門の人々の最後を語る。

●かつぽ(二二分)
鯨人が現れ、息災延命の宝珠を里人に与える。

●ようろう(二二分)
山神が御代のためでたさを祝福し、爽快な舞を舞う。

●かさのだん(四分)
日下左衛門は、笠を持ち、難波の海を背景に、芸尽くしを舞う。能「芦刈」の一部。

●はじとみ(七十分)
都北山雲林院に住まう僧が、夏安吾(げあんご)夏(あ)の九日の間、一歩も外出せず修行をおこなうこと)の終わる頃に、お供えした花を集めて供養していると里女が現れる。夕顔の花を添え示しながら、自分が五条あたりの者であり花の主であることをほのめかして、消える。(中入)

気になった僧は、五条の辺りを訪れる。そしてそこにある寂しく荒れ果てた半部屋の前に、まるで夕顔の女に誘われるように、源氏物語に著わされた夕顔の物語の幻を見るのであった。
「半部」のシテは、光源氏との逢瀬にて訪れた某の院にて物の怪によって消え失せる夕顔と、ほの白く咲く夕顔の花の姿が重なるように描かれています。

独
吟石
橋
黒石陸典独
調春日龍神
上田哲則
太鼓 吉谷 潔仕
舞天鼓
鉦落信也班女
舞アト 班女 森本恵美子玉鬘
玉鬘 玉垣 瑛采女
キリ 采女 スウエン・ホルスト女郎花
小野頼風 松山幸宏鶴亀
皇帝 前田怜生(小四)

地謡

今村嘉太郎
久保誠一郎
森本哲郎
山口剛一郎舞
囃子梅花の精阿武紀美子
大鼓 飯富章宏
小鼓 坂信行
森田光次

地謡

今村嘉太郎
坂口貴信
森本哲郎
久保誠一郎●しゃつきょう(五分)
童子が、青涼山にかかる石の橋の有様を語る。●かすがりゆうじん(五分)
八代龍王が釈尊の説法の間を見せ、猿沢の池に立ち去る。●てんこ(四分)
天鼓の霊が現れ、愛器に再び巡り合えた嬉しさに鼓を打ち、舞い遊ぶ。●はんじょ(四分)
班女は恋人の扇を胸に抱いて再会を夢見る。●たまかざら(四分)
玉鬘の霊が、恋の妄執を物語る。●うねめ(四分)
采女の霊が昔の姿で現れ、思ひ出の舞を舞う。●おみなめし(四分)
小野頼風の霊が現れ、妻の入水や自分の自害を語り、その後の地獄の責めの有様を見せ、僧に回向を頼んで消える。●つるかめ(三分)
中国の新春の祭事で、鶴と亀の精霊の舞の後、皇帝がめでたく舞い納める。●うめ(二十五分)
梅花の精が現れ、数ある鼻の中で梅を最も尊重するべきと評価し、序之舞を舞う。

梅

17時30分頃
終了予定

16時40分頃
(時間は多少前後します。
お早めにお越しください。)

16時20分頃

附祝言(狸々)

富樫の従者
強力(弁慶の下人)
吉住村万緑

勸進帳

安

宅

富樫御厨誠吾
小鼓 大鼓
幸白坂
正保
佳行
森田光次

源義経
山伏 山伏 山伏 山伏 山伏 山伏
森本 松本 玉垣 千歳 高田
後藤 純江

番囃子

地謡
井内政一 久保誠一 森本哲郎 山口剛一郎

鵠 昭 松 羽 田 玉 嵐

仕舞

山 蔵王権現 堀田絵美
鬘 玉鬘 高田勉
村 坂上田村麿 小林優紀
衣 天人 出口佳子
風 松風 中島裕香
君 呼韓邪單于 鬼塚由紀乃
鵠 上田哲則

融

酌之舞

融大臣 増田和子
小鼓 大鼓
飯白坂保行
明太鼓 相原中一 彦達

地謡
森本哲郎 多口信男 坂村嘉伸

●とおる(二十分)
夜半過ぎに融大臣の霊が現れ、楽し気に舞い、月景色を愛でるうちに明け方となり、融の姿は月世界に向かうかのように消え去る。
早舞(はやまい)という、公家の霊や女の霊が楽しげに舞う舞を舞います。
今回は酌之舞(しゃくのまい)という特殊演出にて致します。

●あらしやま(三分)
蔵王権現の力強い舞。

●たまかざら(四分)
玉鬘の霊が、恋の妄執を物語る。

●たむら(七分)
田村麿の霊が戦姿で現れ、鈴鹿山の鬼神を滅ぼした様子を物語る。

●はごろも(四分)
天人は羽衣を纏い、春景色を愛でながら舞う。

●まつかぜ(五分)
松風の霊は舞を舞い、行平の名を呼んで松の木にすがりついたりなどするが、僧に吊いを頼んで、夜明けとともに消え去る。

●しようくん(五分)
単于の亡霊が現れ、鏡に映った鬼のような姿を恥じて消え失せる。

●ぬえ(五分)
鵠の霊が現れ、うつほ舟に押し込められて淀川に流された事を物語る。

●あたか(五十分)
安宅の関で富樫は義経捕縛の命を受けている。
義経一行は山伏に変装し、安宅の関に着く。東大寺復興の寄付を募る山伏と偽り、持ち合わせの経巻を勸進帳と名付け読み上げ、一旦通過を許される。しかし、義経が疑われたので、弁慶は金剛杖で義経を打ち据え、事なきを得る。非礼を詫げる富樫の盃を受け、舞を舞い、虎口を逃れる思い出道を急ぐ。
義経側の強力、富樫側の従者として狂言方が出演することにより、能に近い雰囲気をお楽しみいただけます。

福岡

(第1部) 九州大学能楽部自演会 (第2部) 大学能OB会

9月27日(土) 午後2時始 会場：大濠公園能楽堂
舞囃子・素謡・仕舞大会

入場無料

長崎

諏訪神社御鎮座400年記念

長崎くんち直会神事奉能

10月13日(祝) 会場：諏訪神社奉幣殿

〈第1部〉市民参加「長崎くんちで能を謡おう! 舞おう!」

〈第2部〉奉納舞 森本 哲郎

入場無料

北九州

森本能舞台六十周年
森本哲郎還暦

北九州松涛会

12月7日(日) 午前10時始 会場：やはた能舞台
舞囃子・素謡・仕舞大会

入場無料

長崎

森本能舞台六十周年
森本哲郎還暦

長崎松涛会

入場無料

令和8年1月12日(祝) 午前10時始 会場：チトセピアホール
能「船弁慶」、半能「石橋」他 素謡、舞囃子、仕舞

福岡

福岡観世会 第二回

令和8年1月24日(土) 午後1時始 会場：大濠公園能楽堂
能「玉鬘」今村嘉太郎
仕舞「実盛」観世 清和
能「春日龍神 龍女之舞」森本 哲郎
他 狂言、仕舞

〈入場料〉
指定席 10,000円
自由席 8,000円

◆主 催

福岡松涛会

◆指 導

森本 哲郎

◆お問い合わせ

森本能舞台 福岡市中央区警固3-8-1

Tel: 092-711-8888 または 090-3194-1828(森本携帯)

Fax: 092-711-8181

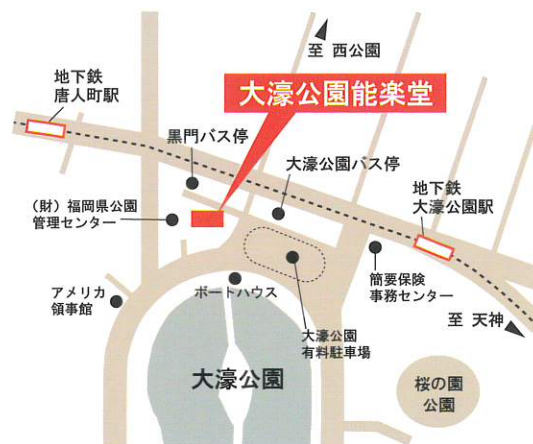
Mail: info@m-nohbutai.com

©森本能舞台公式ホームページ <https://m-nohbutai.com/>

HPが
新しくなりました!



HP



〈大濠公園能楽堂へのアクセス〉
○地下鉄「大濠公園」駅(3番出口)より徒歩7分
○西鉄バス「大濠公園」または「黒門」バス停より徒歩4分

注) 能楽堂には駐車場がございません。
大濠公園内および近隣の有料駐車場をご利用ください。